

アトムリビントック株式会社

第56期第2四半期(平成22年6月期)

決算の概要

平成22年2月



SINCE 1903
ATOM
ATOMLIVINTECH CO.,LTD.

■第56期第2四半期の業績と取り組み 経営環境

住宅関連市場においては、2009年度の新設住宅着工戸数が前年比27.9%減と、1964年以来、45年ぶりの低水準となるなど、未曾有の環境下で推移した。



■第56期第2四半期の業績と取り組み 経営施策

市場価格の適正化に努めるとともに、販売費および一般管理費の圧縮等、調整かつ管理可能な諸施策を講じつつ、厳しい経営環境を克服するための経営努力を重ねた。

2009年10月には、東京アトムCSタワーおよび大阪アトム住まいの金物ギャラリーの2拠点において「秋の内覧会」を開催、さらには総合カタログ「ATOM DATA LINE」を発刊するなど、積極的な商品展開と販路の拡大に懸命の努力を重ねた。



■第56期第2四半期の業績と取り組み 業績

- 売上高 **33億39百万円** (前年同期比14.7%減)
- 営業利益 **3百万円** (前年同期比95.6%減)
- 経常利益 **33百万円** (前年同期比67.5%減)
- 四半期純利益 **28百万円** (前年同期比52.0%減)

通期見通しとの比較では、売上高については、期初の計画をほぼ達成。営業利益、経常利益、四半期純利益においては、期初の計画を大きく上回る事ができた。



■第56期第2四半期の業績と取り組み 業績に関する要因分析と自己評価

【経営努力】

経営面での自助努力に加え、積極的な商品展開と販路の拡大に取り組むことにより、厳しい環境下ながらも、今後に期待が持てる業績を確保することができた。

売上総利益率の向上を図ることができた点は、上海阿童木建材商貿有限公司からの調達をはじめとする購買面での自助努力に加え、オリジナル商品が主体であることからくる市場での価格形成力など、市場優位性を発揮した結果であると評価。

■第56期第2四半期の業績と取り組み 業績に関する要因分析と自己評価

【経営努力】

この間、住宅関連業界では整理統合が進むなど、波乱に満ちた時期だったが、貸倒損失を極小にとどめることができた。

販売費や一般管理費などの変動的要素ばかりでなく、社内的に管理が可能な数値の改善についても、全社を挙げて取り組んだ結果、期初の予算を圧縮した水準で推移することができた。



■第56期第2四半期の業績と取り組み 業績に関する要因分析と自己評価

【将来に向けた取り組み】

前期より取り組みを開始した
「秋の内覧会」、「春の新作発表会」といった連続性に
留意した商品開発と販売活動の新たなサイクルを確立
することで、将来につながる基礎固めに取り組んできた。



■第56期第2四半期の業績と取り組み 業績に関する要因分析と自己評価

【将来に向けた取り組み】

住宅関連市場自体が収縮する中において、業際部分を強化・拡大することで、フィールドを拡大するための手立てを講じ、真の意味での新規事業と既存事業の相乗効果を発揮するための、基盤づくりが図れたことは、第7次中期経営計画がスタートした年度として大きな成果であると評価している。



■今後の成長戦略

第7次中期経営計画

- ▶ 当期を基点とする第7次中期経営計画では、経営体制の改編を実現するため、柔軟かつ機動的な経営組織の確立を柱に据え、経営陣の刷新を含めた組織改革および世代交代の推進を目指している。
- ▶ 部門の再編成や若手の登用について社内のコンセンサスを取りまとめ、具体化するための準備作業に入っている。



■今後の成長戦略

第7次中期経営計画

- ▶社員一人ひとりが自分のポジションや役割を自覚することができるようになってきており、この間の業績向上につながっている。
- ▶当初、2011年6月期からの正式スタートを予定していたが、それでは遅れをとることになるとの判断から、第4四半期の冒頭、今年の4月1日から実働するよう準備を進めている。



■今後の成長戦略 主な成長戦略

- ▶ 「秋の内覧会」と「春の新作発表会」という年2回のセールスプロモーションを軸とした新たな商品開発のサイクル成立は、より多くのお客様と接点を持ち、ヒントや改善のご指摘をいただくことで将来の発展につながってくると確信している。
- ▶ 昨年12月に立ち上げたSNS(ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス)、「インテリアファン.com」は、「みつかる」「つながる」「相談できる」「体感する」をキーワードとするコミュニティサイト。



■今後の成長戦略 主な成長戦略

- ▶ アトムCSタワー内で開催する「インテリア職人ギャラリー展」などのインテリア関連のイベントやセミナー、ワークショップなどは、リアルな交流の場であり、バーチャルとリアルとの双方から理想のライフスタイルの実現をサポート。



■今後の成長戦略 主な成長戦略

第7次中期経営計画が目指す

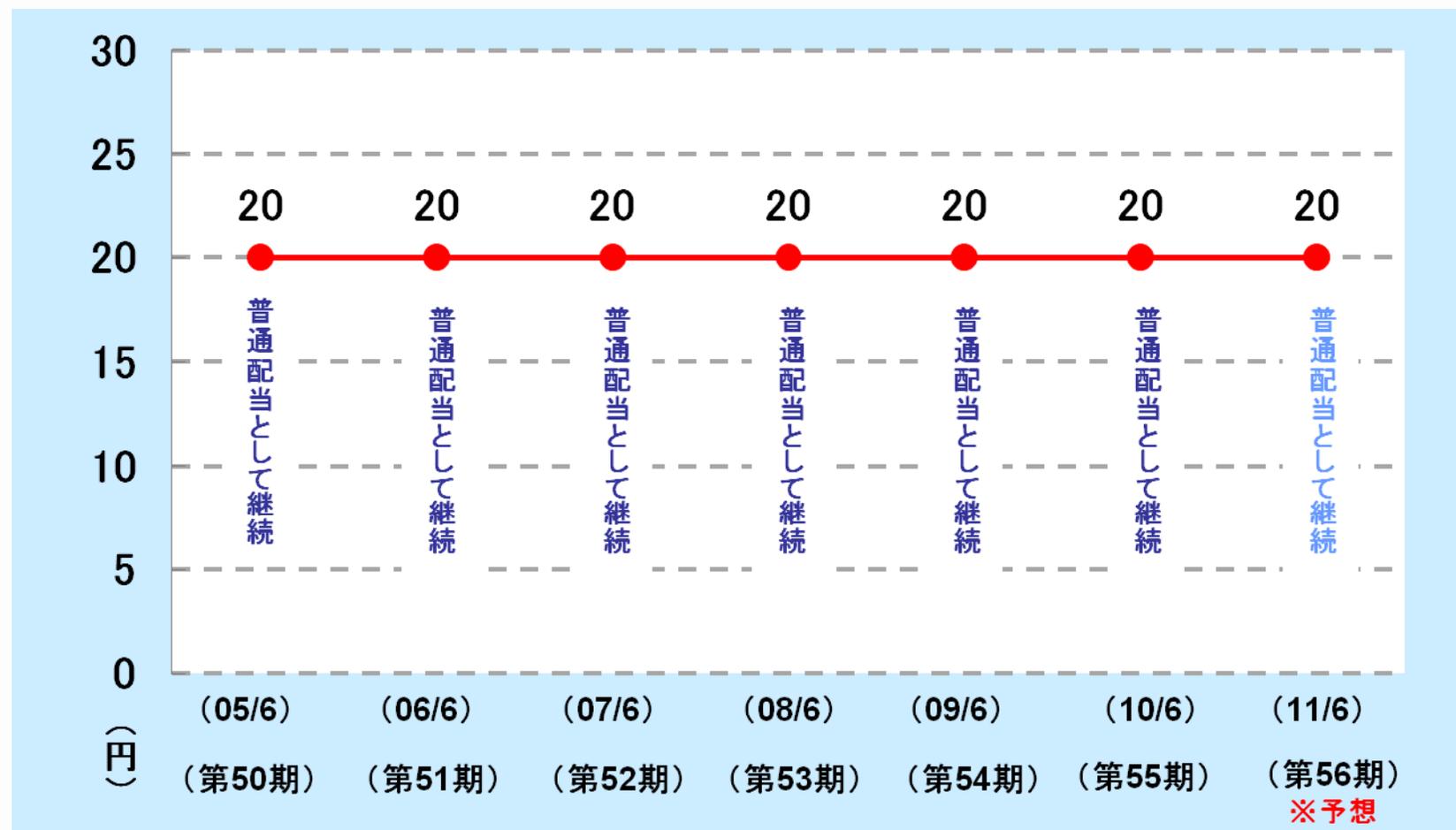
「**住空間創造企業**」をキーワードに、
新しいテーマを掘り起こしながら、
「厳しい経営環境においても成長を続けるための

『**伝統と変革の調和的融合**』」
に取り組んでいく。



株主・投資家の皆様へのメッセージ

配当について



企業概要

SINCE 1903
ATOM
ATOMLIVINTECH CO.,LTD.

商号	アトムリビンテック株式会社 (JASDAQ,3426)
本社所在地	〒110-8680 東京都台東区入谷1-27-4 TEL 03-3876-0600(大代表)
設立	1954年10月9日(昭和29年)
代表者	代表取締役社長 高橋 良一
資本金	3億74万円 (平成21年6月期末)
事業内容	家具金物・建具金物・陳列金物など、住まいの金物 (内装金物)全般の企画・開発および販売
従業員数	116名
売上高	70億1,210万円(平成21年6月期)



IRお問合せ先:IR担当 経営企画室

TEL:03-3876-3939

E-Mail:ir@atomlt.com

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、この資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生、または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることは、くれぐれもお控えになられるようお願い致します。

尚、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。



住まいの飾り職人

ATOM

ATOMLIVINTECH CO., LTD.